

国語	特に育成したい能力や態度 (具体的な数字や言葉で記載する) 2～3にしぼる。	授業改善の視点と具体的な方策 (具体的に達成すべき数値目標を記載する) 左側のものとリンク【対応させる】	達成率【割合】 A・・・90%以上の児童 B・・・90～80%の児童 C・・・80～70%の児童 D・・・70%以下の児童
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の思いを自分の力で書き表す。</li> <li>文字に親しむ機会を増やし、自分の力で読めるようにする。</li> <li>2学期から学習する漢字を確実に定着させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰もが書けたという達成感の得られる指導を行う。書くことが難しい児童については、教師の字をなぞらせたり、真横に手本を示したりする。</li> <li>読むことの楽しさを感じられる指導を行う。読むことが苦手な児童については、指で一文字一文字確認しながら字と音を適合させる。また、毎日の音読の宿題や週2回の朝読書、週1回の図書の時間を確保する。</li> <li>正しい姿勢と鉛筆の持ち方を意識させ、丁寧に練習することを通して、形や筆順を確実に覚えられるようにする。</li> </ul>	<p>(成果) 自分の考えを文で書けるようになった (達成率 A)</p> <p>(課題) 字は書けるが、正しい筆順で書くことは難しい。どんなときでも丁寧な字を書けるようにする。</p>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の学習に慣れ、集中して取り組む児童が多いが、文字の形が取りにくい、読み替えが理解できない児童もあり、漢字の定着率は、上位と下位に別れている。</li> <li>読み聞かせや読書を楽しむことはできるが、登場人物の心情や様子を読み取ることのできない児童もいる。</li> <li>作文など積極的に取り組める児童もいるが、拗音、促音、長音、助詞、片仮名の表記が定着していない児童もいる。</li> <li>スピーチや発表の声が小さい児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>部首や似た漢字、読み方の違いに気付かせるように工夫する。朝学習や家庭学習でも繰り返し行う。</li> <li>読み取りの時の語彙の力を増やすため、ことわざカルタや言葉に注目したスキルの学習をさせる。</li> <li>作文は、書けたことを認め、嫌にならないよう、書く機会を増やすことで文章を書けるようにしていく。</li> <li>発表前にメモや練習をすることで、抵抗を減らし、自信をもって発表できるようにする。</li> </ul>	<p>【成果】漢字の学習に慣れ、集中して取り組む児童が多くいる。ただ期間があくと忘れてしまうため、反復練習が必要。</p> <p>本を手にとって読む児童は4月当初よりも増えたが、読み取りはまだまだ苦手。(達成率 C)</p> <p>【課題】登場人物の心情や様子を読み取ることのできるが、文章化するのが難しいと感じる児童が多い。</p> <p>作文などでの拗音、促音、長音、助詞、片仮名の表記は定着していない児童が多い。引き続き指導が必要。</p>
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章から、考えの根拠となる文章を読み取る。</li> <li>自分の考えをノートにまとめたり、発表したりする。</li> <li>漢字・語彙の定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な文章や大切な文章にサイドラインを引かせ、根拠となる文章を視覚的に捉えやすくする。</li> <li>発表する時に、自分の考えと合わせて理由を発表することを習慣付ける。</li> <li>話型や考えの手がかりとなるキーワードを板書で整理し、自分の考えを書いたりまとめたりする時間を設定する。また、その都度手本を示してそれを見ながら、正しく書く習慣を身に付けさせる。</li> <li>毎日の家庭学習での漢字練習に加えて、毎回の授業で新出漢字の学習をする。</li> </ul>	<p>(成果) 多くの児童が自分の考えをノートに書くことができた。また、毎日の漢字練習によって、3年生の新出漢字を身に付けることができた。(達成率 B)</p> <p>(課題) 自分の考えをノートに書くことができる児童が多いが発表となると消極的な児童が多い。ま</p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語辞典を教室に常置し、意味調べの時間を設定し、調べる習慣を付ける。</li> </ul>	<p>た、考えの根拠となる文章を読み取ることが難しい児童が多い。</p>
4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字を確実に定着させる。</li> <li>・読解的文章では、登場人物の心情や様子を文章に正対して読み取ることができるようにする。</li> <li>・説明的文章では、根拠を明確にして筆者の考えを説明できるようにする。</li> <li>・テーマに正対して、自分が思ったことや考えたことを、自分の力でしっかりと書き記すことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学期の前半で新出漢字の学習を終わらせ、後半は宿題を通して習熟の時間を確保する。</li> <li>・既習の漢字について、文章の中で積極的に使うように声を掛け、丁寧にチェックして指導する。</li> <li>・音読の宿題に力を入れ、文章の内容を頭に入れた上で授業に臨ませる。</li> <li>・文章にアンダーラインや書き込みをさせ、そこから疑問点や発問を出したり、答えを考えたりできるようにする。</li> <li>・単元当初に相手意識をもたせた上で、構成メモを作成する際、常にテーマに立ち返って考えさせる。校正を丁寧にを行う。</li> </ul>	<p>(成果) 漢字については、学期の後半で習熟時間を確保できたので、児童は自信をもって書けるようになってきた。文章に書き込みをしたことで、文章に正対した疑問や発問、意見が出るようになってきた。(達成率B)</p> <p>(課題) 既習の漢字を使うことがなかなかできない。文章の更なる丁寧な校正が必要である。</p>
5年	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 話す・聞く力を高め、すすんで話したり聞いたりできる児童を育成する。</li> <li>② 語彙を増やし、文章を書く場面や対話の場面に生かせるようにする。</li> <li>③ 自分の考えや思いを言葉に表し、伝える相手のことを考えながら表現しようとする力を育成する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 具体的な話し方や聞き方、話し合いの進め方のモデルを示す。自分の考えをもつ時間を確保し、児童の主體的な態度や取り組みを認め、よい点を褒め、全体に広げる。(達成率 80%)</li> <li>② 読書の時間を確保することや、意味調べ・季節の言葉集め等、語彙を増やす機会を作る。(達成率 80%)</li> <li>③ 自分の考えを記述する場面を設定し、教師の文章を参考にさせ、書くことに慣れさせる。意見文などの文章構成のパターンなどをつかませ、文末表現などを工夫するよう指導する。(達成率 70%)</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①C：話し合いの機会を増やし、そのモデルを提示することで、少人数のグループ活動の際、自分の意見を話す児童は増えてきている。全体の場で発表できるように手立てを考えていく必要がある。</li> <li>②D：朝読書の時間の設定により、読書する機会は増えたものの、語彙が増えていることを認められる状態にはなっていない。</li> <li>③B：話型を示したり、友達の文章を参考にしたりすることで書くことに慣れ、自分の考えを文章で書ける児童が増えた。</li> </ol>

<p>6年</p>	<p>④ 話す・聞く力を高め、すすんで話したり聞いたりできる児童を育成する。</p> <p>⑤ 語彙を増やし、文章を書く場面や対話の場面に生かせるようにする。</p> <p>⑥ 自分の考えや思いを言葉に表し、伝える相手のことを考えながら表現しようとする力を育成する。</p>	<p>④ 具体的な話し方や聞き方、話し合いの進め方のモデルを示す。自分の考えをもつ時間を確保し、児童の主體的な態度や取り組みを認め、よい点を褒め、全体に広げる。(達成率 80%)</p> <p>⑤ 読書の時間を確保することや、意味調べ・季節の言葉集め等、語彙を増やす機会を作る。(達成率 80%)</p> <p>⑥ 自分の考えを記述する場面を設定し、教師の文章を参考にさせ、書くことに慣れさせる。意見文などの文章構成のパターンなどをつかませ、文末表現などを工夫するよう指導する。(達成率 70%)</p>	<p>(成果)まだまだ語彙が足りないものの、自分の意見を持つ時間を確保することで話し合いは活発になった。文章を書く際にはモデルを示すことで書けることが増えた。(達成率B)</p> <p>(課題)引き続き語彙を増やし、情緒をより細かく表現できるようにしていくことが必要。</p>
-----------	---	--	--